

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2019-20年度
国際ロータリー会長

マーク・ダニエル・マローニー



ロータリーは
世界をつなぐ



「世界を変える行動人」

6月は「ロータリー親睦活動月間」です。

地区テーマ 「参加してロータリー活動を楽しもう」

国際ロータリー第2640地区 ガバナー 中野 均

国際ロータリー第2640地区 ガバナー事務所

〒640-8331 和歌山市美園町3-34 けやきONE 301号室

TEL (073) 426-2640 FAX (073) 426-2660

URL <http://rid2640g.com/nakano/>



ロータリーの重点分野



今こそ「ロータリーは世界をつなぐ」
2020年ロータリー
バーチャル国際大会

2020年6月20～26日

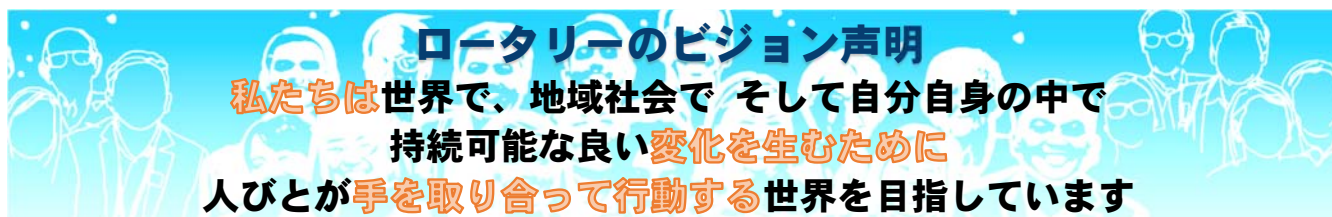


国際ロータリーの
バーチャルイベント(参加無料)
多くのご参加を!

- 6月20日 第1回本会議
- 6月21日 第2回本会議

目次

RI会長 6月のメッセージ	1
ガバナー 6月のメッセージ	2
ロータリー親睦活動月間	3
2020年バーチャル国際大会	4
ケニアのロータリアン、COVID-19感染拡大阻止に乗り出す	5
一年を振り返って(地区代表幹事、各ガバナー補佐)	6～9
2022-2023年度 ガバナー候補者	10
【クラブ活動報告】	
堺市への防護服の寄贈 堺東RC・堺おいしいずみRC	11
堺市4施設へマスク寄贈 堺北RC	12
例会自粛中 週報 特別号発行 堺北RC	13
緊急事態宣言下での活動報告 松原RC	14
マスク寄贈、地域の医療、福祉関係者に対する支援活動 海南東RC	15
ハイライトよねやま No.242	16～17
コーディネーターNEWS 2020年6月号	18～19
新会員の紹介	20
会員数報告(2020年4月)	21
My ROTARY登録状況(2020年5月)	22
6月の行事予定	23



行動計画 私たちは「世界を変える行動人」として、強い目的意識を共有しています。今後5年間の計画は、「より大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極的なかわりを促す」「適応力を高める」です。

RI会長 6月のメッセージ

RI会長 マーク・ダニエル・マローニー

私のロータリーにおける旅路は、40年前に25歳でジケーター・ロータリークラブ（アラバマ州）に入会したときに始まりました。それ以来、家族とともに数多くの忘れられない経験を重ねてきました。しかし、国際ロータリーの会長として世界をつなぐというこの経験にかなうものはありません。私個人のロータリーでの旅路を、ロータリーの旅路として皆さま一人ひとりと共有することができたのです。



今年妻のゲイとともに出会った素晴らしいロータリアン、ローターアクター、そしてその他ロータリーファミリーの人びとは、今後一生、私たちのインスピレーションでありつづけます。ウグアイからウクライナ、そしてナイジェリアからニュージーランド、さらにその他の国や地域でも、多くのクラブやプロジェクトを訪れてきました。東奔西走し、地球を2回も1周し、北半球と南半球を行ったり来たりという体験をする機会に恵まれました。どの国にも、どの場所にも、独自のロータリーマジックがありました。3月にジンバブエを訪問した際、インドのロータリアンとともに医療職業訓練に参加しました。治療を求めて訪れた何千人もの人びとに健康、希望、そして命を与えるプロジェクトでした。また、ジンバブエ首都のハラレで開催されたロータリー青少年シンポジウムでは、300人を超える青少年の熱気に触れることができました。とても刺激的な体験となりました。

本年度、ロータリーは新たな行動計画を発表しました。どのクラブもこれを実行してくれていることと思います。家族に働きかけ、あらゆる年齢層にリーダーシップを発揮する機会を授け、国際連合との連携75周年を祝い、そして何よりも、ロータリーを成長させること。そういった本年度の優先事項に取りくむ皆さまの活動に、私は力をもらいました。

新型コロナウイルスが世界中に広がる中、世界は一変しました。以前には思いも寄らなかったような形であらざるを得なくなり、私たちの適応力が試されています。クラブ会合や地区大会、会長主催平和会議、そして断腸の思いで2020年ロータリー国際大会（ホノルル開催）の中止という苦渋の決断を下してきました。会合やイベント、何年も前から準備してきた企画が中止になったにもかかわらず、私たちは一致団結して公益と公共の福祉を最優先させてきました。

ホノルル開催のロータリー国際大会を楽しみにしていた頃、アロハの精神を学びました。ハワイのロータリーの友が、「アロハ」とは互いに敬意と愛情を持つことだと教えてくれました。見返りは何も求めずに、人を思いやり、大切にできる精神です。アロハの精神は世界中どここの国や地域でも通用します。ロータリアン、ローターアクター、ロータリーファミリーの一員として私たちはつながっており、アロハの定義のように、人と人とのつながりの基本は、共通点を喜ぶだけでなく、相違点に互いに敬意を払うことにもあります。地域社会は、互いに気にかかけあい、大切にしたい、分かちあい、責任を持ちあう個人の集合体なのです。

新型コロナウイルスのパンデミックという危機に直面してロータリーのコミュニティが人類のために行動を起こした姿にも、アロハの精神がみてとれます。私たちはまさに世界を変える行動人なのです。ロータリーのコミュニティは常に、そして特にこのパンデミックに際して、アロハの精神を発揮してきました。この精神は分かちあうべき贈り物であり、私たちは一人ひとりがこのロータリーの贈り物を授けられています。ロータリーファミリーの皆さま一人ひとりに、私はゲイとともに感銘を受け、インスピレーションを授けられ、そして畏敬の念を抱いてきました。

本ロータリー年度の終盤には、世界が変わるような体験をしました。互いの生活をよりよくするための新しい方法、一緒に先に進むための新しい方法を見つけ出しました。そして、地元の地域社会、世界中の地域社会へのロータリーの贈り物を増やしていくために、私たちはともにロータリーを今後も成長させていきます。

ロータリーが世界をつないでいく中で、皆さまと過ごしたこの1年、ともに分かちあったこの旅路を、ゲイと私は決して忘れることはありません。

ガバナー 6月のメッセージ

ガバナー 中野 均

梅雨入りも間近になり、皆さまにおかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は、地区運営に何かとご理解ご支援賜り誠に有難うございます。今年2月以降、新型コロナウイルス感染者が増加し、収束が見られない中、地区委員会行事は中止又は延期、クラブ例会も休会せざるを得ない状況で6月を迎えました。



5月20日に大阪府、京都府、兵庫県の緊急事態宣言が解除され、外出自粛や一部の業種を除いて営業自粛が解除となりました。皆さまにおかれましては、今までどおりの対策、対応を続けて頂きたいと思っております。

さて、早いもので、今月で12回目のメッセージになりました。昨年2月、3月4月と諸々の準備期間を経て、7月を迎えました。7月23日和歌山ロータリークラブを最初に公式訪問が始まりました。真夏の中、「ロータリー100年の鐘」を持ってです。大変でしたが、各分区ガバナー補佐の方々にお世話になり有難く感謝申し上げます。地区大会までに所属クラブを除くクラブを訪問させて頂き、それぞれのクラブの奉仕活動が素晴らしいものであると認識させて頂きました。ガバナーという大きな役職に着かせて頂いた賜物であると感謝しています。

所属の堺東ロータリークラブをホストとし堺市内8クラブをコ・ホストで開催しました地区大会も2日間盛大に挙行することが出来ました。お忙しい中、ご出席頂きましたご来賓の皆さま、ロータリアンの皆さまに厚くお礼申し上げます。

昨年末には、インターアクトクラブ海外研修に同行させて頂きました。行先は、カンボジアでした。現地の小中学生との交流があり、私にとって貴重な体験をしました。また、現地で事業をしている日本人より講演を聞き、小物を作成する体験、そして、インターアクターと顧問先生1人が郊外の村でホームステイするプログラムでした。特にホームステイで、「今、それぞれ日本での暮らしが当たり前ではない。」ことを体現したことでしょう。

下期は、地区委員会事業に参加して、ロータリー活動を楽しませて頂くつもりでした。冒頭で述べたとおり、今期の計画実行が全て無くなりました。しかし、これらの事業は、地区運営に係るもので、3密を避ける方法で、中止・延期の決定及び情報提供をする等ガバナー補佐会議を開催して来ました。

6月は、緊急事態宣言が解除されたことで、クラブ例会も開催されるクラブもあることと思いますが、引き続き3密を避けるため、それぞれのクラブに合った方法で例会を開催されますことをお願い致します。

最後になりますが、ノミニー、エレクト、ガバナーと2年余り、小生を支えてくださいましたガバナー補佐始め地区役員の皆さま、適時アドバイスを頂きましたパストガバナーの皆さまに感謝申し上げます。メッセージに代えさせて頂きます。有難うございました。

多謝

ロータリー親睦活動月間 (Rotary Fellowships Month)

筆:ズハール・シャープ (RI職員)

クラブに入会し、活動を続ける主な理由の一つが「親睦」。生涯にわたる友情を築く機会の一つとして、ロータリー親睦活動グループがあります。これは、共通の趣味や職業を持つ全世界のロータリアン、配偶者、ローターアクターが集まり、親睦を深めるグループです。分野は多岐にわたり、テニス、ワイン、マラソン、料理、スクーバダイビング、自動車、ジャズ、コンピューターなど、計64のグループがあります。行事、コンテスト、会合を通じて、クラブや地区、さらには国境を越えた交流を楽しめるだけでなく、毎年、ほぼ半数のグループがロータリー国際大会に参加し、友愛の家で展示を行ったり、非公式関連行事を開いてともに活動したり、仲間との親睦を深めています。



中には、趣味や職業を生かして奉仕活動を行っている例もあり、ポルトガルのフードバンクに冷蔵輸送用のトラックを寄贈したグループ、ロータリークラブと協力してタンザニアの恵まれない地域のための奉仕プロジェクトを実施したグループもありました。このほかにも、毎年恒例の競技会や晩餐会でポリオプラスのために募金を集めるグループもあります。

6月のロータリー親睦活動月間には、さまざまな親睦活動グループの活動例をご紹介します。グループの活動からアイデアを得て、皆さまの地域でも親睦活動月間にちなんだ活動を行ってみませんか。

団結し続ける

サーファーズユナイテッドロータリアンフェロウシップ (SURF) の創設者兼議長であるブレット・モリー

(2020年4月16日)

私たちをつなぐものは希望です。希望は喜びを生み出し、それは私たちをロータリーの家族として本当に結びつけます。私たちはまた、これらの不確実な時代において、ロータリーの会員として、私たち一人ひとりがしばしば地域社会のリーダー、家族や会社のリーダーであると見なされていることを非常に認識しています。



COVID-19は私たちのフェロウシップのメンバーに影響を与え、何人かの素晴らしい友人、家族、同僚の命を奪いました。また、多くの人々が仕事を失うという経済的混乱を引き起こしました。ポジティブなものに焦点を当てようと努力するにつれて、さらに何十万人もの人がウイルスを生き延びたことがわかりました。多くのサーファーズユナイテッドロータリアンフェロウシップの会員がテストに参加し、回復してきています。将来的にウイルスや他の菌株を予防するワクチンが開発されることを期待して多くの人々が楽しみにしていますが、科学とバイオテクノロジーのコミュニティが人類のより良い利益のために協力するにつれて、私たちは良い結果も出ています。

先週、Zoomを介して最初のSurfers Uniteビデオ会議を開始しました。カリフォルニア、フロリダ、アリゾナ、ハ

ワイ、ブラジル、オーストラリア、ニュージーランド、さらにはフィリピンからのメンバーのグループが集まったことは素晴らしいことでした。5月5日、またはカリフォルニアではシンコデマヨと呼ぶ次のズームイベントを楽しみにしています。

会員は、この時期に行動を起こしており、この世界的危機の真っ只中にポジティブな違いを生んでいます。カリフォルニア州サンディエゴダウンタウンブラックファストロータリークラブのポーリン・リムのようなメンバーは、さまざまなマスクを縫うために女性のグループと協力しています。彼らはすでに数百枚のマスクを納品しており、HEPAフィルター用のインサートを備えたウォッシュャブルマスクを含むさらに多くのマスクを注文しています。

カリフォルニア州のサンディエゴロータリークラブ(クラブ33)の弁護士であり、サーファーであり、ロータリアンでもあるダン・シュナイダーマンは、医学界のニーズをすぐに認識し、行動に移しました。ダンの父であるゲイリーは退職した整形外科医であり、サーファーズユナイテッドロータリアンフェロウシップのビッグカフナライフタイムメンバーであり、カリフォルニア州ラホヤゴールドエンライアングルロータリークラブのメンバーであり、母親のキャシー・シュナイダーマン博士は小児科医です。率直に言って、彼らは私たちがこれまでに知った最も有能な2人です。ダンのチームは\$ 6,0000米ドル以上を調達し、3Dプリンターを使用してフェイスシールドの作成を開始し、南カリフォルニアの3つの病院と医療センターの225ユニットに納入しました。

私たちは皆、これらの困難な時期を共に乗り越えます。さらに、私たちは世界中の友達がお互いをサポートするためにできることをしています。最近、ズームのビデオ通話を何度も行っていますが、地域のロータリアンやローターアクターが他の人々のニーズに応え、食料品を手に入れ、クラブの年長の会員やコミュニティの人々への物資を送り込んでいる様子を見てきました。



新型コロナウイルス(COVID-19)によるホノルル国際大会の中止を受け、6月20～26日にオンラインでの初めての試みとなるバーチャル国際大会が開催されることとなりました。

バーチャル国際大会で会員の意欲、革新性、忍耐を共に共有し、COVID-19に対応するクラブの活動をご覧ください。国旗入場式でロータリーの国際性を祝い、本会議でつながる力を感じ取り、分科会でロータリーに参加する新しい方法を学び、優れた講演者からインスピレーションを受け取りましょう。

今ほどロータリーが必要とされ、人のつながりが求められるときはありません。今こそ「ロータリーは世界をつなぐ」を合言葉に、オンラインで私たちの結束を強めましょう！

スケジュール概要

6月20日(土)

第1回本会議:ロータリーと共に“ちから”をつなごう(Together We Connect)

8:00～9:15:シカゴ(米国)時間[UTC-5]

日本時間は同日の22:00～23:15となります。

6月21日(日)

第2回本会議:ロータリーと共に学びを深めよう(Together We Learn)

8:00～9:15:シカゴ(米国)時間[UTC-5]

日本時間は同日の22:00～23:15となります。

6月22日(月)～6月26日(金)

分科会

主要な分科会スケジュール (特記がない限り、すべてのセッションは英語で行われます)

6月22日(月)

8:00:会員の参加を促すバーチャルツールの使い方

12:00:ロータリー学友の参加促進

18:00:ロータリー行事をグリーンに:プラスチックを無くし、二酸化炭素削減を目指そう

6月23日(火)

8:00:新しいクラブの種類を通じたロータリーの成長

12:00:会長ノミネーのセッション

18:00:小口融資のロータリー行動グループの結成方法(スペイン語で発表)

6月24日(水)

8:00:河川支援の取り組み:ロータリーとUNEPパートナーシップモデル

12:00:ローターアクトの地位向上と今後

18:00:ロータリークラブにおける破壊的イノベーション(スペイン語で発表)

6月25日(火)

8:00:充実したグローバル補助金申請書の提出方法

12:00:会長エレクトのセッション

18:00:2021年のデジタルトレンド:ミレニアルを引き付けるテクノロジーの使用

6月26日(金)

8:00:奉仕と代替例会で子どものいる家族の参加を促す

12:00:ロータリーブランド

18:00:個人的成長の機会:ロータリーとトーストマスターズの協力

留意点:

これらのセッションは録画され、オンデマンド形式でご覧いただけます。

※シカゴ時間と日本時間との時差は14時間です。



© Rotary International

One Rotary Center, 1560 Sherman Ave., Evanston, IL 60201-3698, USA



ケニアのロータリアンがコロナウイルスの感染拡大阻止に乗り出す

東アフリカでは、ソーシャルディスタンスが経済的に難しく「ぜいたく」とされる地域があります。ロータリークラブが連携し、これらの地域で手洗い場の設置や食料支援を行っています。

記事 Arnold R. Grahl (国際ロータリー)

ケニアのナイロビでは市民の80%近くが無認可居住区で生活しています。そこでは、日雇い労働者ら複数の世帯が一つ屋根の下で暮らす光景も珍しくありません。店員や建設作業員、家庭内労働者として稼いだわずかなお金で日々を生き抜くこれらの人たちは、狭い空間で8人もの人が料理や宿題、食事、睡眠といった生活を共にしています。

経済的に余裕のない多くのケニア人にとって、ソーシャルディスタンス(人との距離を空けること)は、言わば「ぜいたく」です。

「北米などで発生している新型コロナウイルスの大流行がケニアでも起これば、悲惨な結果となるでしょう」。ソーシャルディスタンスの難しさを指摘しつつ、こう語るのは、ムサイガ・ロータリークラブ会員のギータ・マネクさん(ロータリー財団管理委員エレクト)です。「予防策を徹底し、ウイルスに感染しないよう必至にがんばっています」

世界保健機関が新型コロナウイルスのパンデミック(世界的流行)を宣言した直後、ロータリー第9212地区(エリトリア、エチオピア、ケニア、南スーダン)ガバナーのジョー・オティンさんは、全地区にまたがる対策チームを立ち上げました。ナイロビ・イースト・ロータリークラブのジョー・カマウさんがリーダーを務めるこのチームは、地区内のクラブと連携し、手洗い場の設置、職を失った世帯への食事の支援に加え、人びとに配布する防護具を購入するためのファンドレイジング(資金調達)を行いました。

「世界は今、かつてないほどロータリーを必要としています」

「まず何から始めようか、とカマウさんが尋ねたので、手洗い場の設置から始めようと答えました」。対策チームメンバーのマネクさんはこう回想します。

マネクさんは、エチオピアとケニアでファンドレイジングの先頭に立ち、20日間で21,000万ドル以上を調達。さらに、集まった寄付に対してケニアのプライム銀行が同額を上乗せして拠出することを申し出ました。チームはこの資金で水タンク100台購入し、さらにタンク納入業者からも追加100台の寄付を確保しました。金属製の台に設置され



たこの水タンクは100リットルを貯水でき、下部には真ちゅう製の蛇口が取り付けられ、せっけん置きも備えています。対策チームはこの手洗い場をキリフィ、モンバサ、ナイロビの各所に設置し、現在は国家衛生局と協力して次の支援地を絞り込んでいます。現在、トラックでタンクの交換をしていますが、当局は配管して水を補給する方法を検討しています。

ロータリアンと共に奉仕プロジェクトに参加する市民から成るグループ「ロータリー地域社会共同隊」は、現地の人びとに効果的な手洗いの方法を教えながら、人びとが手洗いのために戻ってくる回数などのデータも収集。また、ケニア都市部のスラム街で少女や女性の支援、擁護、教育に取り組む市民団体「Shofcoo」とも連携し、手洗い場の監督を行っています。

さらに対策チームは、手洗い場に来た人びとから、食料が不足している家庭に関する情報を集めています。在宅勤務命令が出されたことにより、日雇い労働者たちは生計を立てられなくなっているとマネクさんは指摘します。そこでクラブは、日雇い労働者らに砂糖、トウモロコシの粉、米、平豆、塩、石鹸などが入ったパッケージを配布しています。



クラブは、砂糖、トウモロコシの粉、米、平豆、塩、石鹸などが入ったパッケージを配布しています。

一方、最前線で闘う医療従事者に配布される防護具の入手は、さらに困難になりつつあります。納品業者や寄付団体に掛けあい、医療用マスクとガウンを確保しようと試みているものの、入手できる数は限られており、またそのほとんどが空輸のため、非常に高く付くとマネクさんは言います。

この危機においてプラスの要素があるとすれば、ロータリアンの熱意の高まりによって他団体からの注目が集まっていることが挙げられます。

「ロータリアンはいつでも真っ先に現場で活動してきました」とマネクさん。「ロータリーの活動を知り、協力したいと考えている銀行や保険会社など、企業からも協力の申し出が来ています」

母国ケニアに最も力を注ぐマネクさんですが、他のロータリアンたちもエリトリアやエチオピア、南スーダンで活動しているそうです。

一年を振り返って

地区代表幹事 上松瀬 洋

一年経つのも早いもので、中野ガバナー年度も終わろうとしております。

中野ガバナーに微力ながら、お手伝いできたらと思い、代表幹事を引き受けましたけれども、何一つ手助けもできなかった事が悔やまれます。



ガバナーの職務がこれほどハードなものだとはいえ、全く知るべくもなく、只、適任であるというだけで中野氏をガバナーに推薦しました。中野ガバナーは、さすがであります。中野ガバナーはその大任をみごとに遂行してくれました。それこそ、365日、ロータリーの為だけに使ったと言っても過言ではないくらい、ロータリーの為に尽くしてくれました。只々、頭の下がる思いです。

ロータリー年度の前半は各クラブ訪問と地区大会と大変多忙な日々でありました。

クラブ訪問につきましては、私も、10クラブ程、ガバナーと同行致しましたけれども、多勢の方々との知己を得られました事は、私の大きな財産であると思っております。そして、各クラブが様々な奉仕活動をなされている事に対して、深い感銘を受けました。

ロータリー年度後半につきましても、様々なイベントが予定されておりましたけれども、新型コロナウイルスの影響で中止になってしまい、大変残念であります。

いろいろと御協力いただいた、全てのロータリアンの皆様に感謝いたします。

誠に、ありがとうございました。

1分区分ガバナー補佐 武田 静也

ガバナー補佐の役割もよく解らないままに引受け、一年半以上が経過しましたが、私のガバナー補佐としての1分区分での仕事何をしたのかと問われると、何もせず終わってしまったというのが現実ではないかと考える次第です。



ガバナー補佐を受けることとなる人たちに伝えることがあるとすれば、ここ1年を通して考えたことを述べたいと思います。

まずはなったことのある人は最初みんな(いや私だけかも)思った事だとおもいますが、なにをどうする役なのかがピンときませんでした。読んで字のごとくで、ガバナーを補佐するんだという漠然とした思いはあるのですが、具体的には解らないのです。それは会長とか幹事なら身近にいて、例会とかで出席していれば解ってくるのですが、身近に問合せ出来るシステムもなく、前年度から概要の伝達もないし、研修もないわけで、分区分の中でどう言う役割をしていけば良いのかがわかりませんでした。単にガバナーのメッセンジャーならそれで良いのですが、メッセンジャーとしては、それも公式訪問前の事前訪問以外にないような気もしますが、ただこれは1分区分だけの問題かもしれません。たまたま、1分区分は以前あったインターシティミーティング(IM)もなくなり、分区分としての機能が成り立っていないと言うのもあるのかもしれませんが、しかし、一端廃止になった事業を復活させるのは大変な労力が必要となります。近年、会員減少が地区及び分区分、各クラブにおいても深刻な問題となっており、会員減少がより事態を難しくしていると考えます。単年度だけのガバナー補佐だけでは分区分を把握するのは難しいことです。分区分における歴代ガバナー、ガバナー補佐、当年度の会長、幹事が現ガバナー補佐を支える仕組みが少しでもできあがれば、前述の問題も少しは改善され、今後、ガバナー補佐をされる方の心的不安の解消や、役割に対する考え方にも繋がっていくのではないかと考えます。

1年間、色々な機会を与えてくれたことは大変良かったことだと感謝しております。例えば地区の事業のあり方、地区組織、そして何より苦勞されているガバナーを身近に見ることが出来たのは大変勉強になりました。また、地区の役員、委員長の方々の苦勞を肌で感じ、友好的関係を築けた事は私にとって貴重な一年となりました。又、分区分において日頃交流のないクラブを訪問することにより、貴重な意見や提案を頂いたことは本当に貴重な体験となり、今後のロータリー活動に生かしていきたいと考えています。この1年間、ガバナー、ガバナーエレクト、ノミネー、地区役員、各委員長、各ガバナー補佐の皆様には大変お世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。有り難う御座いました。

2分区ガバナー補佐 細川 幸三

2019～2020年度 中野均ガバナーの補佐として2分区を担当させて頂き、私個人として大変有意義なロータリー活動をさせて頂きました。2018年初冬頃よりガバナー補佐・地区幹事(予定者)合同会議が始まります。その会議では中野ガバナーを中心に地区の様々な活動等が決定されていきます。同時に補佐としての責任感を感じながら2019年7月、中野ガバナー年度がスタートしました。



特に記憶に残るのは、ガバナー公式訪問時の会長幹事さんとの懇談会です。中野ガバナーのお供で区内クラブの例会に参加させて頂き、ガバナーと共にクラブ会長、幹事さんとロータリークラブ事情についての意見交換を行ったことが印象に残ると共に大変参考になりました。

ロータリー歴約20年、多くの方と知り合い、またロータリーについて教えを頂きましたが、ガバナー補佐として地区に携わり中野ガバナーとも直接関わりを持たせた事、他の補佐さんや地区幹事さん、委員会委員長さん、他クラブ会長幹事さん、全ての会員さん、(特に分区2)との出会いが私のロータリー歴や人生の上で大きな財産となりました。年度後半は新型コロナウイルス感染症の影響を受け活動制限中ではありますが、一年間を振り返り、私個人としては充実した一年でありました。感謝!

3分区ガバナー補佐 森本 芳宣

地区の財務委員を3期の経験しかない私がガバナー補佐を依頼されたとき、軽い気持ちで引受け後悔しながら“地区を成功に導くリーダーシップ ガバナー補佐編”を手に入れ、役割と責務を少し勉強しました。私は所属クラブにおいては楽しんでいたつもりですが、ガバナー補佐を引受けた事により中野ガバナーのスローガン「参加してロータリー活動を楽しもう」を少し理解実践出来たかと思っています。



地区行事に可能な限り参加しました。ガバナー公式訪問が第3分区10クラブ、7～8月に集中しましたので前もって各クラブ協議会に出席させて頂いたのが新会長、幹事さんの会期の初めだったため活動計画書、活動報告書の作成が大変だったと思います。ガバナーと一緒に訪問させて頂いたのを含め2回以上出席させて頂きました。卓話を依頼され3回程。あまり話をするのは好きではないのですが、各クラブの活動報告書、

計画書を見せてもらい所属クラブとの比較また歴史、会費、入会金等、事業規模、財政状態の比較をさせて頂き非常に興味を覚えました。また、各クラブ奉仕活動の内容特徴を楽しく聞かせてもらいました。

10月の地区大会でガバナー補佐として前の席でR1会長代理 鈴木秀憲氏、神戸大学教授 木村建次郎氏、2日目に吉本興業ホールディングス(株)副社長 田中宏幸氏、大阪観光局理事長 溝畑宏氏と4つの講演をききました。席が前だった事もあり楽しく聞きました。木村教授の講演は内容が難しいのに話がうまく皆さん良く聞いていたと見渡して思いました。私は職業柄引かれたのが2日目最後にあった溝畑氏の講演で、非常に楽しく興味を引かれました。ただ残念なのは2日目15:15開始となっていた為、皆さん多く帰られ空席が多くなっていた事です。ガバナー補佐会議が毎月開催される事は後でわかりました。私はガバナー事務所へ行くのが一番近いと思います(約0.5km)ので助かりました。

1年を簡単に振り返りましたが、残念なのは新型コロナウイルスの拡散により後半いろいろな催し、会議が中止になった事です。コロナに対し、ロータリーがどう対処し、支援出来る事にどう対処していくか、大変な時期を迎えたと思います。

4分区ガバナー補佐 藤平 良光

2019-2020年度第4分区担当のガバナー補佐をさせて頂きました。第4分区は粉河RC、高野山RC、橋本RC、河内長野高野街道RC、岩出RCの5クラブで構成しています。当地区では、長期に渡り定期的に会長幹事会を開催しての連絡を密に良い関係が続けています。また持ち回りで合同例会を開催して、各クラブの連携を深めてきました間柄です。その様な状況下での私の今年度ガバナー補佐と致しまして、従前の延長線上に分区を進めさせていただき、地区の現状を再認識することが出来ました。またあまり努力もせずに大いに楽しませて頂きうれしく思っています。1年通じて皆様のRCへの情熱が非常に熱く感じられ、反面私は歴の割に熱意の少なさが身に沁みています。人と人との交流には“思いやり！怒”が大事と改めて思いました。皆様の熱意がRCを前進させます。私もまだ頑張れると思う心境なので、これからもよろしくお願ひいたします。この1年間本当にありがとうございました。



5分区ガバナー補佐 豊岡 敬

昨年の7月から、中野年度が始まったのですが、前半はすごく順調に推移しました。ところが、後半になると新型コロナウイルスの世界的な感染拡大によって、2640地区だけではなく、ロータリーの事業そのものの多くが中止を余儀なくされました。特に6月にハワイ・ホノルルで予定されていた国際大会の中止は、全世界のロータリアンにとって残念なことであったと思います。



分区5組は、大阪の大和川の南、南河内に位置しており、南輪会と呼ばれております。今年から富田林ロータリークラブと富田林南ロータリークラブが合併となり、9つのクラブで構成されております。本年度の5組のホストクラブは、松原ロータリークラブでした。ガバナー公式訪問は、8月2日の美原ロータリークラブから始まり、10月4日の河内長野ロータリークラブで無事に終了しました。それぞれのクラブで趣向を凝らした例会を開催していき、ガバナー公式訪問では、温かく迎えて頂いたことに感謝致します。

分区5組の事業に関しては、ホストの松原ロータリークラブが中心となり、会長・幹事会議を開催する中で、島ヶ原カントリークラブで10月29日に開催されました南輪会ゴルフコンペ、ボウルアロー松原で2月15日に開催されたIMボーリング大会等で親睦を深めることができました。

本年度は、2640地区内の百舌鳥・古市古墳群がユネスコの世界文化遺産に登録されたこともあり、地元地域の歴史をテーマにした、IMフォーラムの開催を松原商工会議所で、3月7日に開催することを予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大によって、残念ながら中止となってしまいました。

分区5組の事業としては、6月20日に都シティー大阪天王寺ホテルで開催が予定されております。南輪会新旧会長幹事会が最後となり、次年度のホスト美原ロータリークラブにバトンをつなぐこととなります。

私は、2640地区青少年交換委員長としても務めさせて頂きましたが、1月以降は新型コロナウイルス対応に追われて、受入れ学生の本国への早期帰国と、派遣学生を日本に帰国させることに翻弄されてしまいました。日本国内でも、店頭からマスクや消毒用アルコール等が消えて、入手困難になってきたおり、台湾から交換学生に渡してくれと洗濯可能な布製マスクが送られてきました。送り主は、元RI会長のGary C.K. Huang氏です。まだまだ世界のコロナ禍は治まっていません。ぜひ既に帰国した交換学生に送って



あげたいと考えます。

新型コロナウイルスについては、一旦終息しても、第二波、第三波が襲ってくる懸念があります。早く完全に終息することを願うのと同時に、Gary C.K. Huang元RI会長のよう、ロータリアンとしてこの困難に立ち向い、世の中に貢献する術を考える必要があるのではと思います。

6分区ガバナー補佐 町谷 卓男

コロナ被害の全体像がまだまだ見えてこない中であって、大きな影響、変化が予想されています。私たちもまた、「より信頼され、より必要とされる」企業づくり、事業の改革が求められています。このことは、取りも直さず、奉仕の精神、利他の精神に基づき、誰かの幸せを願って改革することだと考えています。マスクもまた、お金を出しても、買えなくなり、当たり前にあると思っていたものが、当たり前にあるのではなく、それらのことによって、ロータリーもまた例外ではなく、人がつくりあげてきたものであることに気付かされました。



7月に身に余る思いで就任。私自身、今まで漫然とロータリーで食事を共にしていただけだったので、当然、何が何だか解らない。もともと、平成3年に歯科医院を開業し、狭い世界で生きてきたため、きわめて世間知らず、更に悪いことに思い付きで、芸術でも勉強(六拾の手習い)しようと4月大学に入学したばかりでした。

そんな状態であるのに関わらず、クラブ協議会に参加させて頂いた際には、すべてのクラブ(10クラブ)(多くの会員方々から、ニコニコを通じて)から、大変な歓迎を頂きました。組織人として、相手の尊厳を守り、組織を盛立てていこうとする思いが伝わり、その紳士な、ロータリーを愛する態度に感銘を受けました。そして多くのことを学ぶことが出来ました。

ガバナー訪問では、中野ガバナーの懐の深さのお蔭で安心してお伴させて頂き、大会でも、適度な役割を頂き、大変楽しい時間を過ごさせて頂きました。中野ガバナーが発せられた「感謝」のお言葉が、今も心に響いています。

一方、その思いにどれだけ答えられたのかは、はなはだ疑問で、反省することばかりです。その寛容の精神で、ご容赦願えれば幸いです。

中野ガバナー、藤井ガバナーエレクト、そして、すべての会員、職員の方々のお蔭で、充実した楽しい時間を頂きました。そして今、皆様方と一緒に出来たことを、ロータリーの会員であることを「誇り」と感じています。1年間ありがとうございました。「感謝」です。

7分区ガバナー補佐 谷 宗光

先ずは、今回のコロナウィルスによる、被害に対しお見舞い申し上げます。

生きていく間には、予想もしない事が起こるものだと、つくづく考えさせられ、どう対応し、乗り越えていくかを考え、歯をくいしばって生活しているところです。



中野ガバナー年度に補佐の大役を仰せつかり、私の様な者が役に立って分区の為、地区の為、多くの仲間のロータリアンの為に、なれるのだろうか？と少し弱気になっていましたが、まず、ロータリーの事を知ろう！地区の事を知ろう！分区の事を知ろう！と一年間努めてまいりました。

その中で、見識の高い先輩の皆様に色々とお教えいただき、少しは能動的に活動できるようになってきたのかな？と勝手に思い込んでいました。

その矢先年明けからのコロナ騒動で、世界中がパニックに陥り、ロータリーの各種会合、活動etc、世界大会までもが、中止となり本当に残念に感じております。

ただ、コロナ騒動が無くても私個人は、エレクトより落第！留年！を宣告されておりましたので、第2波、第3波を乗り越えながらも一年勉強させて頂き、2640地区のロータリアンとして地区の運営の一助になれる様、微力ではありますが、精進いたします。

次年度もヨロシクお願い致します。

7分区ガバナー補佐 山中 喜八郎

第8分区 11クラブの担当ガバナー補佐を仰せつかり、早1年が経とうとしています。

今年度後半は、今までになかった「新型コロナウイルス」が世界中で暴れまわり、感染力が強く、ワクチンも特效薬もないという厄介なウイルスに、どう対処して良いのかわからないまま、各クラブ例会、活動を自粛するなどの対応を余儀なくされたクラブも多いかと思ひます。



今回ウィルスのパンデミックに直面し、私達ロータリークラブが全力を挙げてこの世から無くそうとしている「ポリオ(急性灰白髄炎)」もひと昔前同様な状況に直面していた様に思ひます。

実は、私は幼いときにこのポリオに罹り、運良く治った一人です。当時は「小児麻痺」と言い、同じ村で10人ぐらいの子供が一遍に罹りました。知識も情報もない大人たちが、明らかに様子がおかしい子どもたちにあたふたする中、村の唯一のお医者さんが、偶然我が家の前を通り、相談したところ、もしかして「小児麻痺では？」と疑い、直ぐに手術にかかってくれて、髄液を全部抜き替え、幸いかな危機を乗り越える事が出来ました。そのような経験もあり、ロータリーのポリオ根絶が実現する日を願っています。

今、新型コロナウイルスによる緊急事態対応のためにも、世界中のロータリアンからの浄財によるロータリー財団によって、プロジェクトが次々に立ち上がっています。

「疾病の予防と治療」はロータリーの主な活動分野の一つですので、この新型コロナウイルスに対しても、ポリオ根絶に対してもロータリーの支援の力が期待できると信じています。

末筆ではございますが、中野 均ガバナー様はじめ、地区役員の皆様、各クラブの会長・幹事様やロータリアンの皆様、各事務局の皆様には温かいご理解とご協力、ご支援を賜り、幾重にも厚く御礼申し上げます。1年間、誠に有難うございました。

2019-2020年度 

Looking back over the past year

一年間 ご苦勞様でした！



ロータリーは世界をつなぐ



Rotary International District 2640

国際ロータリー第2640地区 2022-2023年度 ガバナー候補者

2022-2023年度ガバナー指名委員会は、5月8日、事前に推薦のあった本地区ガバナー候補者として、森本 芳宣 氏(和歌山北RC)を指名いたしました。

経 歴 書

- ◇候補者氏名:森本 芳宣(もりもと よしのぶ)
- ◇所属ロータリークラブ:和歌山北ロータリークラブ
- ◇ロータリー歴:入会日1999年11月1日(20年)
- ◇生年月日:1953年6月8日(66歳)
- ◇職業分類:税理士

- ◇会社名:森本会計事務所 役職:所長

- ◇過去5年間に出席した地区またはゾーンの会合:

- 2016年2月27日・28日 RI2640地区大会
- 2016年10月22日・23日 RI2640地区大会
- 2017年11月 4日・ 5日 RI2640地区大会
- 2018年10月27日・28日 RI2640地区大会
- 2019年10月26日・27日 RI2640地区大会

- ◇ロータリーにおける現在の役職

- 2019—2020年RI2640地区 ガバナー補佐
クラブ会計

- ◇従事していた奉仕及びロータリー活動

- 2010年—2011年 和歌山北ロータリークラブ会長
- 2014年—2015年 和歌山北ロータリークラブ幹事
- 2015年—2016年 RI2640地区財務委員
- 2016年—2017年 RI2640地区財務委員
- 2017年—2018年 RI2640地区財務委員
- 2017年—2018年 和歌山北ロータリークラブ幹事
- 2019年—2020年 RI2640地区ガバナー補佐

- ◇事業及び専門職務における表彰、業績

- 平成10年5月 社団法人 全国経理学校協会会長表彰
- 平成23年6月 税理士歴30年近畿税理士会長表彰
- 平成30年6月 行政書士30年総務大臣表彰
- 令和 元年7月 税理士歴30年日本税理士会連合会会長表彰

- ◇市民としての公共活動における表彰、業績



地区活動報告

寄稿記事

堺市への防護服の寄贈

記:堺おおいずみロータリークラブ 会長 新本 憲一

緊急支援事業として、堺東RC・堺おおいずみRC合同で堺市へコロナウィルス対応の医療従事者向けの防護服を寄贈しました。

経緯

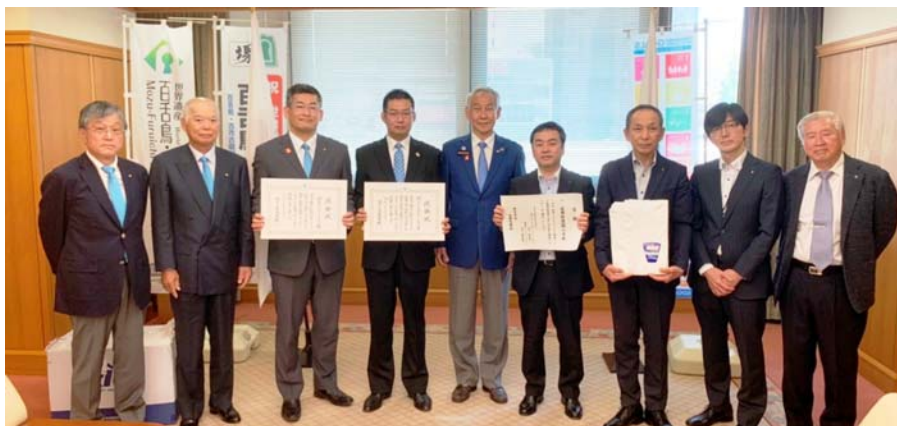
姉妹クラブ・台南中区扶輪社が台南市へ防護服2,000着を寄贈。

<https://news.m.pchome.com.tw/healthcare/twpowernews/20200413/index-15867558234626447012.html>

台南中区扶輪社より、会員の関係先がコロナウィルス感染対策の防護服を製造しており、堺市や大阪府にて防護服が不足しているなら、約1週間で準備して堺おおいずみRCに送ることが可能、と連絡あり。用意できる数量、納期、金額の調査を依頼。同時に堺東RC 藤田会長に相談。

資金調達・防護服確保・堺市にて不足している現状を確認し、台南中区扶輪社へ防護服2000着を発注。堺市市長公室長、森様と打ち合わせ。届き次第半有することを確認。

5/7防護服到着、5/8堺市備蓄倉庫へ搬入、5/14市役所にて寄贈式。



堺東RC・堺おおいずみRC両クラブ理事役員・会員の協力のもと迅速に寄贈することができました。また、有事の際に地域に対し大きな貢献ができました。ロータリークラブの大きさと有意義な存在であることを再確認致しました。

クラブ活動報告

寄稿記事

堺市4施設へマスク

記:堺北ロータリークラブ 幹事 中田 学

新型コロナウイルスの影響でマスクが入手困難となっていた中、クラブメンバーの城岡会員のご尽力で、マスクを購入できることになり、当クラブが応援しています児童福祉施設 清心寮はじめ堺市内の以下4施設へ各1,000枚ずつ寄贈させていただきました。



【児童福祉施設】清心寮(北区東上野芝町)



【児童福祉施設】泉ヶ丘学院(堺市中区平井)



【児童福祉施設】愛育社(堺市中区八田南之町)



【中途障がい者作業所】
麦の会共同作業所(堺区神石市之町)

寄贈は4月27日(月)に行い、感染防止のため、私が代表して届けてまいりました。

クラブ活動報告

寄稿記事

例会自粛中 週報 特別号発行

記:堺北ロータリークラブ 広報委員長 米澤 邦明

全国的、いや、全世界的に新型コロナウイルスによる感染症が蔓延し、諸般の会合が全て中止になる中、堺北ロータリークラブは、4月3日(金)の例会を最後に休会いたしました。この後いつまで休会が続くのかわかりませんが、大阪府も緊急事態宣言が解除されましたが、まだまだ油断大敵、私たちRCメンバーも学校に行く子どもたちと同じで、早く皆の元気な顔と声を聞きたくてウズウズしている今日この頃です。

そんな中、堺北RCでは休会中の連絡やメンバーの近況等をお知らせするため、まず、最初に堺北RCのLINEグループを起ち上げました。

LINEでは、約10名のメンバーの書き込みが有ります。

次に週報の発行(実際には隔週報ですが)をしています。

内容は、ロータリーが休会中でもメンバーの皆さんがそれぞれのアイ・サーブをしている報告や、4月から来る筈の米山奨学生の陳敏彪(チャン マン ピウ)君の紹介等、本来例会が行なわれていたら自己紹介をしてもらおう所でしたが、本人の自己紹介文を載せる事でそれに代えるなど、どちらかと言うと結果報告的な週報から、案内的な週報へと代え、隔週で発行しています。



週報はクラブホームページにも掲載しております。 <https://www.sakai-kita.jp/>



クラブ活動報告 寄稿記事

緊急事態宣言下での活動報告

記:松原ロータリークラブ

会長 加藤 清久 会報・広報委員長 岡田 安司

3月中旬を最後に例会の開催を見送ってきましたが、その間にも4月14日(火)の河内松原駅前での献血活動には街頭に立ち、献血への呼びかけを行いました。政府の緊急事態宣言発令中にもかかわらずたくさんの方(受付数62名・採血数49名)にご協力いただきました。

(前年度同時期の受付数55名・採血数45名)



また、今年度創立55周年を迎えたことを記念して、3月に市域を通る日本遺産・竹内街道を紹介する案内板を2ヶ所に建てました。3月7日(土)に開催予定だった第5分区IMフォーラムで「ロータリー公開講座」の講師として登壇の予定でした西田孝司氏により、このことは松原市の広報誌の中に大きく取り上げていただきました。



例会休会中、会員に対しては近況を報告すべく「松原ロータリークラブニュースレター」を2度作成し会員へ郵送しました。今後もこの状況が続くようなら継続していきます。

さらに緊急事態宣言の緩和に伴い、例会再開等を話し合うべく臨時理事会を5月19日(火)に開催しました。ソーシャルディスタンスに注意し、いつもの例会場で行い、久しぶりの集まりに皆の顔は笑顔があふれていました。その結果6月16日(火)と23日(火)に今年最後の例会を開催し、例年通り年度活動報告と会長および会長エレクトによる卓話を行うことが決まりました。また4月と5月にお祝いをしていないのでそれもまとめて行うことになりました。これはニコニコ箱対策でもあります。いずれにしても、これで来年度に向けての体制が決まったことで、加藤会長年度の締めくくりが行えそうで一同ほっとしました。

クラブ活動報告

マスク寄贈、地域の医療、福祉関係者に対する支援活動

海南東ロータリークラブ

海南東ロータリークラブ(会長 寺下 卓 会員:43名)は、新型コロナウイルスの影響で困っている地域の医療、福祉関係者に対する支援活動として、マスク(合計8,000枚)を海南・海草地域の施設や団体に寄贈しました。

寄贈先は、海南医療センター、国保野上厚生総合病院、海南医師会、海南歯科医師会、海南市社会福祉協議会で、それぞれ、必要なところに配分してもらるよう依頼しました。

このマスクは、各施設等で不足しているマスクの足しにしていただけばと姉妹クラブの台湾・彰化東南ロータリークラブの協力、支援を得て、海外から送っていただいたものと会員企業の協力で確保したものの。

同クラブでは、新型コロナウイルスの感染防止に伴って、4月、5月の例会は、すべて休会。また、開催を予定していた社会奉仕活動の「海南たんぽぽの会」の支援や親睦活動の「家族会」なども緊急事態宣言を受けて自粛、全て中止しました。

この間、2回の理事会は「Zoom」、1回の例会を「LINE」で開催。ロータリー活動が停滞する中、今後も収束までネットを活用し、なんとかコミュニケーションが図れるようアイデアを出し合い試行しています。





公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライト よねやま

Vol. 242

2020年5月14日
発行

1. 第4代よねやま親善大使が決定！

「第4代よねやま親善大使」には26人の学友から応募があり、広報委員会、常務理事会にて厳正なる選考の結果、下記3人の方に決定しました。任期は2020年7月から2年間で、日本全国でロータリー米山記念奨学事業をPRします。地区行事でのスピーカーとしてぜひお声掛けください。親善大使に関するご連絡は当会事務局広報担当まで。



カレン・ジュリア・ウォーターズ
(オーストラリア/1992-94/京都南RC)
(株)Global Waters 代表取締役社長、Burleigh Heads RC(第9640地区)会員。自らの事業では、日本の子どもたちへの国際理解教育と奉仕の心を育てることに尽力。2019年度より第2650地区米山学友会会長。



アドゥアヨム・アヘゴ, アクエティ
(トーゴ/2014-15/新発田城南RC)
(株)ドリーム・ジーピー 研究員。アフリカで不足する義肢装具の開発研究に尽力。日本の義肢中古部品を活用した義肢をアフリカに提供する活動も。自ら手がけた義肢で東京パラリンピックにトーゴの選手を出場させる夢が進行中。



李 昱昊 (リ イッコウ)
(中国/2016-17/東京銀座RC)
法律事務所にて国際法務に従事し、海外に進出する日本企業をサポートする一方、日中交流団体代表として両国の若者の交流促進に尽力。2018-20年度第2750地区米山学友会副会長、2019-20年度東京西RAC会長。

2. オンラインで奨学生と交流！—東京米山友愛RC—

新型コロナウイルスの感染拡大により、今年のゴールデンウィークは“Stay Home”の呼びかけのもと、オンラインでの交流が奨励されました。4月から新しい米山奨学生を迎えた世話クラブからも、奨学生との交流にオンラインを活用した事例を報告いただきました。

日本在住の米山学友を中心に設立され、今年創立10周年を迎えた東京米山友愛RC(第2750地区)では、5月3日に新規米山奨学生の張準好さんを迎え、オンライン会議ツールZoomを使って、クラブで奨学生へのオリエン



テーションを実施。当日は、張さんのカウンセラーで米山学友の朴貞子さん、クラブ支援奨学生の賈悦さんとカウンセラーのブリッタ・ズルツさん、同クラブでお世話した学友の韓瑜さんと李桐さんも参加し、米山記念奨学事業についての説明や自己紹介・近況報告、「オンライン飲み会」で、終始笑いの絶えない時間を満喫しました。朴さんによると、同クラブの4月29日のオンライン例会には、現役奨学生の張さん、賈さんと共に、以前クラブでお世話した米山学友もウズベキスタンから参加してくれたそうです。

3. 寄付金速報 — 減少幅広がる —

4月までの寄付金は前年同期と比べて4.0%減（普通寄付金:1.8%減、特別寄付金:5.1%減）、約4,900万円の減少となりました。今後の見通しがなかなかつかないこともあり、先月同期比に比べ、より減少幅が広がりました。厳

しい状況下にも関わらずご寄付をいただいた皆さまへ、厚く御礼申し上げます。これからも新型コロナウイルスとの闘いは続きそうです。引き続き米山記念奨学事業をご支援下さいますようお願い申し上げます。

4. 学友によるマスク支援続々

ここ数日、全国的なマスク不足が解消されつつあるという報道を目にするようになりましたが、これまでに多くの米山学友が続々と、母校やロータリークラブへ“恩返しのマスク”を寄贈しています。

神戸大学へ 大学附属病院などでマスクが不足しているとの声を受け、神戸大学留学生西日本同窓会の会長をつとめる米山学友・陳林さん（中国/2003-05/芦屋RC）ら元中国留学生が4月21日、大学に2万5,000枚のマスクを寄贈。

慶應義塾大学と世話クラブへ 中国・上海の元留学生ら22人と、上海三田会・旧友会会員78人からの寄付金などにより、中国でマスク6万枚を調達し、4月中に大学へ届けました。その一人である米山学友、肖慧潔さん（2008-09、現在：東京米山ロータリーEクラブ会員）は、奨学生時代の世話クラブ・東京白金RCや、既にクラブを退会したカウンセラーにもマスクを



送付。同クラブでは希望する会員・現米山奨学生・交換留学生（候補）に配布したほか、約1,000枚を地元の医療機関へ寄贈する予定です。林観照会長は「今回、思いがけず昔の米山学友からマスクを寄贈いただき、大変感謝しています。米山奨学事業の絆が形として現れたと

思います。これからも奨学生をきちんとサポートしてまいります」と語ってくださいました。

台湾学友会 関西米山学友会元会長・何玉翠さんが発起人となったマスクの共同購入に、日本国内の学友個人や学友会、ロータリアンら多くが参加しました。台湾米山学友会も会員からの寄付でこれに出資し、購入したマスク3万枚を北海道名寄市役所へ寄贈するほか、同学友会の郭錦堂理事長が所属する台中文心RCが日本の相模原中RCと豊田中RCへそれぞれ10,000枚を寄贈予定です。

ロータリアンからも感謝の声 全国に緊急事態宣言が出された夜、第2640地区元地区米山奨学委員長の京谷知明氏のもとへ米山学友から

「何か出来ることはないか」と打診がありました。マスク不足の現状を伝えたところ、学友有志がマスク2,000枚を苦心しながら調達し、堺フェニックスRCへ寄贈。同クラブはそれを地元の高齢者福祉施設とクリニックへ、フェイスガードとともに寄付しました。京谷氏は「マスクと一緒に温かい気持ちを受け取り、クラブ一同、感謝の気持ちでいっぱい」と、語ってくださいました。



在宅勤務期間延長のお知らせ

緊急事態宣言が5月31日まで延長されたことに伴い、現在実施している事務局の在宅勤務を引き続き継続させていただきます。

【実施期間】5月31日(日)まで ※状況によって期間延長の検討をいたします。

【期間中の問い合わせ対応】原則として、メールにて対応をさせていただきます。詳細は当会HPまで。



ロータリーのリーダーシップと最新の経営理論

ロータリーの「中核的価値観」の1つに「リーダーシップ」が「戦略計画」と共に掲げられて久しい。しかし、その意味について共通の理解があるのであろうか。人によって「リーダー」や「リーダーシップ」についてのイメージや意味するところが違うのは当然として、時代の変遷によってそのありように変化があり、新たに求められるものがあるとおかしくない。一昔前は「カリスマ的リーダー」が典型的なリーダー像であったように思う。「秀でた特殊な能力や専門的知識などの個人的魅力」で影響力を発揮するタイプである。その場合は大抵「リーダー→フォロワー（部下）」という垂直的な縦の関係がある。ところで、ロータリーにおいてその垂直的なリーダーシップのみで良いのであろうか。

時にそのようなリーダーシップも必要であろうが、優れた経営者や専門職が集うロータリーにおいて様々な役割や場面に応じて、一人ひとりがやはりリーダーなのである。近年、リーダーシップについて、経営学で主流となってきた理論に「シェアード・リーダーシップ」(SL)という考え方がある。「グループの複数の人間、時には全員がリーダーシップを執る」とする考え方だ。水平関係のリーダーシップということができる。これからの不確実性の時代のリーダーシップ論としてこの理論が注目されているようだ。

ロータリーにおいて、1人ひとりがリーダーであるならば、当然1人ひとりに「ビジョン(軸)」が求められる。地区やクラブのビジョンもさることながら「自分のビジョンは何か」、「自分は何者で、何をしたいのか」がすべてのロータリアンに求められる。何故なら、どのような団体であっても個人の集合体に他ならないからだ。近年の実証研究では、「従来型の垂直的リーダーシップよりも、SLの方がチーム成果を高める」とい結果が多く示されている。SLにおいて重要なのは十分な「対話(ダイアログ)」である。対話によって個々人の「知」が活かされる。「新しい知は既知の知と既知の知の新しい組み合わせ」から生まれる。

近年の経営理論におけるリーダーシップの定義は「グループ内のある人が他のメンバーのモチベーション・能力を修正する時、それをリーダーシップという」である。「修正する時」とは、あくまで心理的に「他者に変化をもたらす」ことを指す。この場合リーダーとは「変化」を与える人、すなわち他者に「影響力」を与えることを指す。

「私たちは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています」。ロータリーの新しい「ビジョン声明」である。いま正に私たちは「持続可能な良い変化をもたらす」ために個人としての「ビジョン(軸)」をしっかり持ち、「リーダーシップ」を発揮しなければならない。

第2地域ロータリー公共イメージコーディネーター 柳生 好春(野々市RC)

※ 早稲田大学大学院教授 入山章栄著「世界標準の経営理論」に大きく依った。

COVID-19による「緊急事態宣言」のなかで思うこと

ロータリー年度末を迎えるにあたり、ロータリーを前進させるための各地でのご尽力に、心より感謝申し上げます。新型コロナウイルスが蔓延するなか、ロータリークラブの活動や事業活動に懸命に取り組んでおられる皆様に心からのお見舞いと敬意を表します。前途多難な社会状況ですが、閉塞感打破に向け、共に頑張りたいと思います。

新型コロナウイルスはいつ、誰が感染してもおかしくない中で、自らが罹らないこと、そして不運にも感染した時は、他の人達にうつさないようにすることが、ロータリアンとしての社会的責任でしょう。

政府の緊急事態宣言により、外出を極力控えるように強く要請され、在宅ストレスがたまっていると思います。ストレスの発散方法や免疫力アップに効果がある食材等の情報が数多く発信されていますので、参考にして遊び心を忘れずに「離れて繋がる」ことを心がけましょう。

3月以降、ロータリーはクラブ・地区ともに例会・行事・セミナーや奉仕活動などを中止・延期されたと思います。一方でこの間に、ビデオ・インターネット・WEB等を使用した、これまでと違った方法で開催された活動も多くあるのではないのでしょうか。ご苦労はあったでしょうが、今後のクラブや地区の運営に活かされることでしょ。

日本は災害列島と言われ、毎年のように自然災害が発生します。その上に今回のパンデミックが起きました。ウイルス性感染症は20世紀に8回(1918年のスペイン風邪では、世界中で多くの死者が出ました。)、21世紀に入りすでに3回も発生し、努力と知恵によって克服してきています。

各種ある危機の中で、最も死者が多いのがウイルス性感染症です。人は平常に戻ると、すぐに忘れるものです。目の前の敵と闘いながら、風化しないうちにこの経験を活かし「次に備える」ことが重要です。

ウイルス性感染症は不幸なことにこれからも必ず発生するでしょう。今回の新型コロナウイルスも、必ず克服し、「次への備え」によって、社会の発展に繋がることと、確信しています。人が集まって行う奉仕活動がほとんど不可能な中でも、ロータリアンとロータリークラブができることは多くあります。草の根的な活動ですが、コロナと闘っておられる人達にエールをおくったり、困っている人達に支援の手を差しのべたりすることはできるでしょう。

インターネットやWEB等を使った動画の発信によって、人々を「ワクワクドキドキ」させ、感動と希望を与えることができます。また、自らとロータリーファミリーが実施している素晴らしい奉仕活動を、家族・友人・知人に話すことやクラブや地区のホームページとMy ROTARYに投稿することができます。

周囲の人達にロータリーの奉仕活動を示し、語ることによって、ロータリーファミリーの絆を深め、公共イメージ向上にも繋がることとなります。

「ひとりひとりが広報マン」を心がけましょう。

第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 片山 勉(大阪東RC)

戦略計画についてのアンケート結果

第3地域におきましては2019年に引き続き、現ガバナーエレクト(‘20～’21年度DG)にお願いし“戦略計画についてのアンケート”を行いました。今年は第1地域、第2地域でもほぼ同様のアンケートを行いました。新型コロナウイルス感染拡大によりロータリー各種会合が延期、或いは中止となり、皆様方にアンケート結果をご報告をする機会がございませんが、近い将来人間の英知、ロータリアンの結束力でコロナ禍を克服した暁には、日本の34地区・全国のクラブの“戦略計画に対する取り組みの現状”を皆様方にお示しできるものと思います。

2019年では11地区中1地区に地区戦略計画委員会(地区ビジョン委員会)の設立がありませんでしたが、2020年では全ての地区に設立されていました。しかし、3地区では未活動との返答を戴きました。地区ビジョン、或いは地区中期目標を策定している地区は7/11(2019年5/11)、検討中は3/11(2019年2/11)、未決定は1/11(2019年3/11)と多くの地区でそのビジョンを掲げ活動をされています。地区ビジョンの必要性が浸透してきている結果であると推察できます。

クラブ戦略計画(ビジョン)委員会設置については、最も多い地区は82.5%、次いで78.1%、73.8%、69.3%、50%、39.4%、25.4%、16%の順でした。残る3地区は設置をしているクラブもあるが実態を把握していない、との回答でした。昨年未確認の地区が2地区ありましたが、今回は3地区となっています。先にパーセンテージを示した8地区は全ての地区でクラブ内での委員会設置数が増えています。

地区内各クラブはクラブのビジョン、或いは中長期目標を決めているか?との問いについては、それぞれの地区内クラブで85%、47%、40%、37%、36%、31%、7%、3%の割でクラブの進むべき方向を決め、活動をされています。各クラブでのご努力に感謝を申し上げます。この項では、昨年より方針を策定しているクラブが減っている地区が見受けられます。

ロータリーの単年度制から脱却し、持続性を持ったクラブ運営を行うために、是非クラブ内で再討議をして戴きたく存じます。なお、3地区が未確認との回答でした。

国際ロータリーが地区・クラブの活性化のために、2002年にDLP(地区リーダーシッププラン)を、2004年にはCLP(クラブリーダーシッププラン)を推奨致しました。その後、2007年にStrategic Plan(長期計画)、2010年にはStrategic Plan(戦略計画)を打ち出し地区・クラブの活性化・会員増強を持続的に推進するように働きかけました。また、ロータリークラブの特性である単年度制を考慮しつつ、持続性のある即ち数年後を見据えた地区・クラブの目標・ビジョン・活動計画を考えることを推奨しました。


今回の結果から、地区、そして多くのクラブにおいて、それぞれのビジョン或いは戦略計画を立案し、実践することの必要性・重要性を認識されつつある、と考えられます。

地区・クラブ戦略計画(ビジョン)委員会を有用に活用され、地区・クラブの活性化・会員基盤向上・会員増強にご努力されることをお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染もやや衰えを見せつつありますが、第2波・第3波の襲来が必至と思われます。油断をせず感染予防に万全の措置を執りながらロータリー活動を続けられますことを祈念申し上げます。

第3地域ロータリーコーディネーター 高島 凱夫(大阪中之島RC)

新会員の紹介（2020年4月）

	クラブ名	泉佐野ロータリークラブ
	氏名	あさだ としむみ 浅田 敏文
	職業分類	植物油製造
	生年月日	1957年4月13日
	入会年月日	2020年4月16日

四つのテスト

言行はこれに照らして

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか

ロータリーへようこそ！

多様な会員が 集まるクラブに



私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

奉仕と友情の輪を広げよう

地域社会を基盤により良い世界をめざして活動する120万人の会員から成る世界的ネットワーク、ロータリーへようこそ！

ロータリーの強さは、会員にあります。会員一人ひとりがクラブにもたらすスキル、経験、熱意が、それぞれの地域に、そして世界に変化をもたらします。会員が一体となれば、子どもたちを苦しめるポリオ（急性灰白髄炎）を世界からなくし、平和の担い手を育て、疾病、飢餓、識字、貧困といった問題も少しずつ解決できると私たちは信じています。

交流を通じてアイデアを広げ、社会奉仕への熱意を共にする人たちと生涯にわたる友情を築く。それが、ロータリーのコミュニティです。クラブ、地区、国際ロータリーのリソースを最大限に活用し、積極的に参加してください。



ロータリーを体験し 可能性を発見しよう

クラブとつながる

地域とつながる

世界とつながる

まずは行動しよう

第2640地区 会員数報告(2020年4月)

クラブ名	会員数		入会		退会		クラブ名	会員数		入会		退会	
	19.7.1	20.4月末	4月	累計	4月	累計		19.7.1	20.4月末	4月	累計	4月	累計
串本	14	14		1		1	松原	16	15		1		2
那智勝浦	13	13		0		0	松原中	30	32		2		0
新宮	48	47		2		3	美原	7	6		0		1
白浜	12	12		0		0	大阪狭山	11	11		0		0
田辺	85	83		2	2	4	太子	16	17		3		0
田辺東	43	42		1		1	富田林	35	39		5		1
田辺はまゆう	31	29		3		5	ワールド大阪ロータリーEクラブ	34	36		4	1	2
有田	29	29		2	1	2	泉佐野	24	22	1	2		4
有田南	27	28		1		0	貝塚	17	17		0		0
有田2000	16	17		1		0	貝塚コスモス	12	11		0		1
御坊	42	42		2		2	関西国際空港	19	19		2		2
御坊東	13	14		1		0	岸和田	36	35		1		2
御坊南	23	25		3		1	岸和田東	45	45		1		1
海南	14	12		0		2	岸和田南	11	11		0		0
海南東	43	43		2		0	KUMATORI 向日葵	9	9		0		0
海南西	18	18		0		0	りんくう泉佐野	16	17		1		0
Rotary E-Club Sunrise of Japan	10	12		2		0	羽衣	15	16		1		0
和歌山	69	72		7	2	4	和泉	26	27		1		0
和歌山アゼリア	33	34		2		1	泉大津	41	42		1		0
和歌山東	38	43		5		0	和泉南	45	49		4		0
和歌山城南	44	45		3	1	2	大阪金剛	14	15		1		0
和歌山中	26	26		3		3	高石	28	30		2		0
和歌山北	38	37		3		1	高師浜	9	9		0		0
和歌山南	76	81		6		1	堺	53	51		4		6
和歌山東南	41	39		0	1	2	堺東	27	26		0		1
和歌山西	11	11		1		1	堺フラワー	4	4		2		2
橋本	49	46		2		5	堺泉ヶ丘	21	21		0		0
岩出	29	28		0		1	堺中	20	19		0		1
河内長野高野街道	15	16		1		0	堺北	30	29		0		1
粉河	15	16		1		1	堺おおいずみ	28	26		1		3
高野山	19	20		1		0	堺フェニックス	44	41		0		3
羽曳野	13	13		0		0	堺清陵	24	26		2		0
河内長野	15	17		2		0	堺南	9	9		0		0
河内長野東	19	20		2		1	堺東南	7	7		0		0

クラブ	2019年7月1日 会員数				20.4月末会員数				入会		退会	
	男性	1,653	女性	161	男性	1,671	女性	162	20.4月	累計	20.4月	累計
68	1,814				1,833				1	103	8	77

6月の行事予定表

日付	変更	行事	場所
6日(土)		第11回ガバナー補佐・幹事合同会議10:00	ガバナー事務所 (けやきONE4階会議室)
6日(土)~11(木)	中止	国際大会(ホノルル)	ホノルル
7日(日)	中止	地区ナイト	ザ・カハラ・ホテル&リゾート
21日(日)	7月に延期	インターアクトクラブ新入生歓迎会	清風南海学園
28日(日)	中止	次年度のための地区研修・協議会	※備考 冊子配布・オンライン配信
29日(月)	WEB開催	第3回ガバナー会議	ホテルグランドパレス
29日(月)~30(火)	中止	国際ロータリー1A. 2 & 3ゾーン(第1・第2・第3地域)会員基盤向上セミナー	ホテルグランドパレス

ガバナー月信へのご協力、ご寄稿
有難うございました。

ガバナー月信をご愛読いただき、誠に有難うございました。また、編集にあたりましては、中野ガバナーを筆頭に関係の地区役員、委員長等の皆様、また、各クラブの多くの皆様のご協力、ご寄稿によって発行することができました。重ねて厚く御礼申し上げます。

ガバナー月信は、地区と地区内クラブの情報交流を促進し、各クラブの運営、活動に活かしてもらうため、内容の充実に努めてまいりました。

2020-2021年度も引き続き、国際ロータリー、地区、クラブの情報をとりまとめ、掲載情報の収集等、紙面の充実に努めてまいります。今後も皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

(地区IT委員長 寺下 卓)

新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をお願いします

3つの密を避けましょう!

- ①換気の悪い密閉空間
- ②多数が集まる密集場所
- ③間近で会話や発声をする密接場面

国際ロータリー第2640地区
ガバナー事務所 アクセス



JR和歌山駅西口から徒歩7分 阪和道、和歌山インターから約10分